

取扱説明書

《特記事項》

(1) 鍵の使用があり、紛失等の際は、再発行費用として 10000 円 (税別) が発生する。

《注意事項》

初回の入庫について

ご契約後は現況有姿でのお引渡しとなります。リアオーバーハング、タイヤ幅、最低地上高等車検証には記載の無いサイズもあることから、使用するお車のサイズが駐車場のサイズ制限内かどうかは必ず現地にてご自身でご確認ください。

初回入庫時には事前にサイズを確認の上、十分注意をして入出庫をお願いいたします。試し入れ時や契約後に事故等が発生した場合、貸主及び管理会社並びに保証会社では一切の責任を負いかねます。

《遵守事項》

使用者は本駐車場においては下記事項を守らなければならない。

※月極駐車場一時使用契約約款内の「遵守事項」より抜粋

- (1) 引火性物件その他危険物を持ち込まないこと。
- (2) 火気の取り扱い等をしないこと。
- (3) 車両の出入りの際は駐車位置、交通規制等の駐車場内の秩序について、管理者の指示に従うこと。
- (4) 車両の運転に当たっては安全運転をすること。
- (5) 甲又は丙の許可を得たもの以外、物品の販売、自動車の修理(簡易な修理を除く)その他秩序を乱す行為は一切行わないこと。
- (6) 駐車場において物件を損傷し又は事故を起こしたときは直ちに甲又は丙に届け出ること。
- (7) 駐車場内に空き缶・タバコの吸殻等を廃棄しないこと。
- (8) 他の車両の駐車位置を侵さないこと。
- (9) 予め駐車場の取扱説明書を確認し、その記載事項に従うこと。
- (10) その他甲又は丙の定める一般的な指示に従うこと。

以上



この装置は万一使用方法を誤りますと、事故につながる危険性があります。当社のライトパークを使用する上での注意事項を記しますので、駐車装置の管理者並びに実際に装置をご使用する人は必ずお守りくださいますようお願いいたします。

危険

●自動車収容可能な車であるかを確認してください。

ご使用の際は必ず、寸法、重量の確認をしてください。詳細は装置に貼付けてある収容車制限のラベルに明記してある寸法、重量をご覧ください。制限を越えた車、許可を受けていない車は絶対に入庫させないでください。

また、アンテナを下げ、ルーフキャリアや荷物等の高さにも注意してください。

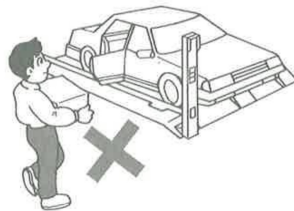


●装置内へは運転者以外は入らないでください。

同乗者の乗降り及び、荷物の積み降し等は、装置の手前で行い、装置内へは入らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。

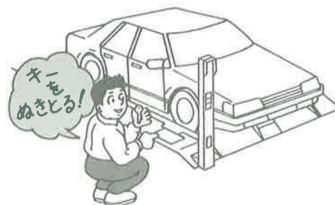
●装置の操作に際しては、あらかじめ安全を確認してください。

装置を操作する前に、装置内及び付近に人がいないこと、障害物のないこと、自動車が装置内へ正しく格納されていること、その他の支障がないことを確認してから操作してください。



●装置の操作終了後はキーを抜き取ってください。

いたずら、誤操作の防止のために運転終了後は必ずキーを抜き取ってください。



●装置を安全にご使用いただくには、定期的な保守点検が必要です。

装置を安全に未永くご使用いただくためには、専門者による定期点検を実施していただくことが大切です。当社各サービスセンターにご相談してください。



●定められた取扱者以外の人は操作しないでください。

定められた取扱者以外の人が操作した場合、事故になる恐れがあります。操作方法、非常処置取り扱い知識を十分有している人がおこなってください。

●運転はゆっくり慎重におこなってください

入庫時は急発進・急停車・急ハンドル操作をしないでください。車や装置を破損するおそれがあります。特に急発進は周りの人や車に接触するおそれがあり、大変危険ですでおやめください。

警告

- 自動車は車止めまで確実に入れ、必ずサイドブレーキをかけてください。

自動車は後タイヤが移動防止ストッパーを乗り越え車止めに当たるまで入れて、当たった状態で確実にサイドブレーキを引き、エンジンを停止してください。さらに、シフトをバックに入れ、ドアロックを確認してから下車してください。ドアミラーは格納してください。

(オートマチック車の場合はシフトを「P」に入れてください。)

- 後進入庫専用。前進入庫禁止。

前進入庫させた場合、重量のバランス及び駐車位置がずれ事故が発生する恐れがあります。

- 装置内は火気厳禁です。

装置内は車とともに多量のガソリンが持ち込まれていますので、たばこの火等には十分気をつけてください。

- 装置内では入出庫作業以外はできません。

装置内での車の修理、洗車、点検等は絶対にしないでください。ピット内への落しものなどあった時は、管理者に通報して、処理してもらってください。

- 疾病、酒気帯時には操作しないでください。

- 晴天時にはパレットが高温になることがありますのでご注意ください。

- 装置内および周囲を、子供の遊び場にしない。

- ピット内は立入禁止

ピット内は危険ですので絶対に入らないでください。



注意

- 装置に乗用車以外を載せない。

装置にバイク・自転車・荷物等をのせないでください。転倒・落下等により、装置の破損・誤作動・故障の原因となります。

- 駐車以外の目的で使用しない。

装置を物置き・植木置き場等にしないでください。物が落下したり、挟み込まれることにより、他の車や装置の破損、誤作動・故障の原因となります。

- 装置内の車への乗降の際、足元や頭上には十分注意をしてください。

- ボディカバーは使用しない。

車のボディカバーが外れた場合、装置作動時の障害物となり、誤作動・故障につながるおそれがあります。ボディカバーは使用しないでください。

- 落ち葉・ビニール袋を取り除く。

落ち葉・ビニール袋等のゴミは、装置作動時の障害物となり、誤作動・故障につながるおそれがあります。装置使用時には装置内および周辺を必ず点検し、取り除いてください。

- パレット上の汚れはこまめに清掃を。

パレット上にエンジンオイル・泥水等による汚れが付いたら、すぐに拭き取ってください。

- スパイクタイヤ・タイヤチェーンでの乗り込み禁止。

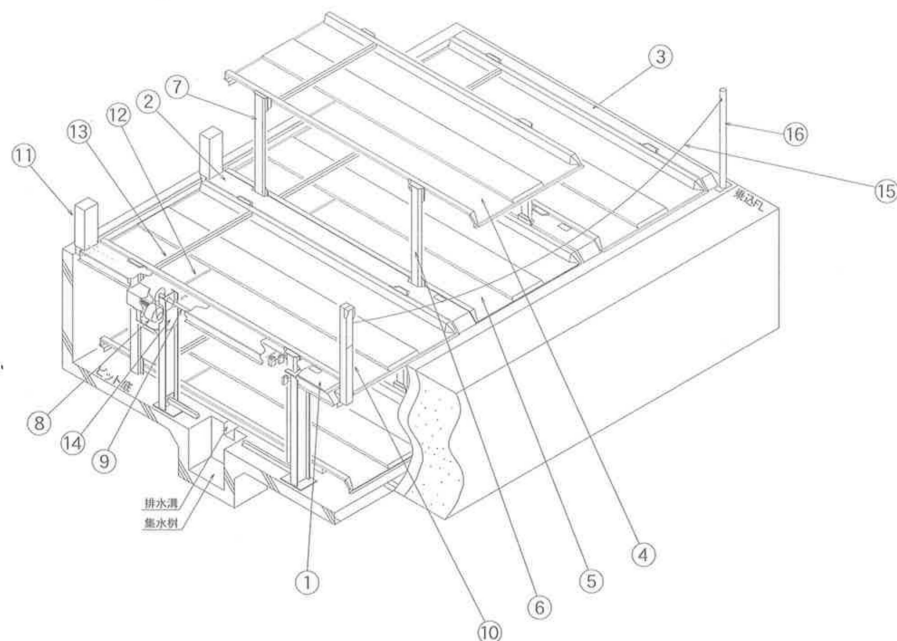
スパイクタイヤやタイヤチェーンは、パレットの錆や傷、または騒音の原因となりますので、装置内では使用しないでください。

- 点検・修理は当社サービスセンターに。

お客様ご自身による日常点検以外の点検・修理は故障や事故につながるおそれがあります。必ず当社のサービスセンターにお任せください。

2 外 観 図

1. 各部の名称



①左端水平梁

装置への出入りが可能な部分です。(通路スペース)

②中央水平梁

装置への出入りが可能な部分です。(通路スペース)

③右端水平梁

設置上の調整部で通路としてスペースは十分ではありません。

④上段パレット

上段の車を駐車させる部分です。

⑤下段パレット

下段の車を駐車させる部分です。

⑥パレット連結支柱（前）

パレットを互いに連結させる部材です。

⑦パレット連結支柱（後）

パレットを互いに連結させる部材です。

⑧昇降モータ

装置の駆動用電動機です。

⑨駆動軸

昇降モータより動力を受けパレットを保持、昇降させます。

⑩操作盤

押しボタンを押すことにより装置を動作させることができます。

⑪制御盤

装置の動作を制御させる電装品が入っています。

⑫移動防止ストッパー

車の自走を防ぎます。

⑬車止め

車の停止位置を制限させるものです。

⑭落下防止装置

万が一のときパレットの落下を防止させます。

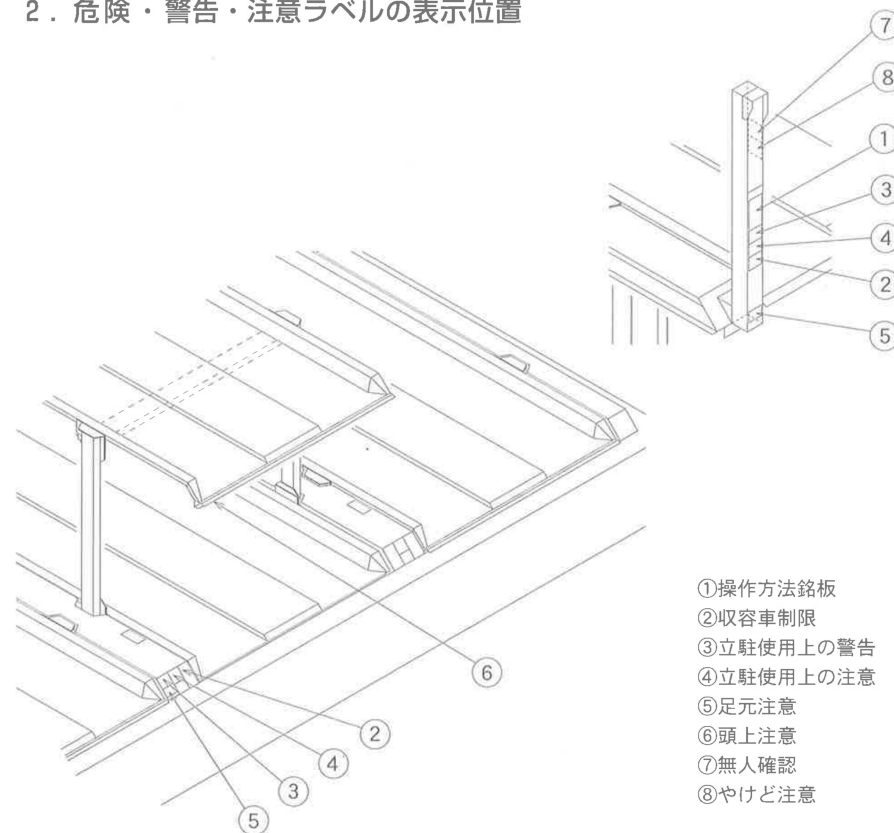
⑮安全鎖

出入口の安全を図るための鎖です。

⑯安全鎖用支柱

鎖の端末を固定する支柱です。

2. 危険・警告・注意ラベルの表示位置



- ①操作方法銘板
- ②収容車制限
- ③立駐使用上の警告
- ④立駐使用上の注意
- ⑤足元注意
- ⑥頭上注意
- ⑦無人確認
- ⑧やけど注意

これらの『危険・警告・注意ラベル』は常にはっきりと見えるようにしておかなければなりません。また、ラベルがはがれたり、汚損した場合は新しいラベルと交換してください。

『危険・警告・注意ラベル』が存在しなくなった場合、または『危険・警告・注意ラベル』が読めなくなった場合は最終項に記載しております当社各サービスセンターに注文してください。代替の『危険・警告・注意ラベル』を送付します。

注意

- 危険・警告・注意ラベルは、安全上大変重要です。絶対にはがさないでください。
- 危険・警告・注意ラベルは、装置同様長期間良好な状態で存続させる必要がありますので、装置取扱者ご自身で定期的に点検、清掃をお願いします。

操作スイッチ



- ① 操作時に安全鎖がかかっており装置内に人が侵入していないことを確認する
- ② 電源スイッチに所定のキーを差し込み入り側に回転させます。
- ③ 選択スイッチにて作動させる機械を選択します。
- ④ ●下段パレットの場合
下段上昇ボタンを押し続けると下段パレットが、乗り込み位置まで上昇し自動停止します。
- ⑤ 下降ボタンを押し続けると下段パレットが下限位置まで下降し自動停止します。
- ⑥ 電源キーを切側に回転し引抜きます。

注) イラストは代表例を掲載していますので、タイプによって装備は異なります。

入庫する前に

- 車を入庫させるときには、子供や障害に十分注意してください。



後進入庫専用

- ゲートがある場合はゲートを上昇させてください。前面安全鎖がある場合は鎖をはずしてください。

警告

- 寸動操作（押しボタンを頻繁に押す操作）禁止
- 車がパレットからはみ出していないことを確認。

注意

- 押しボタンは指で押してください。
- 作動中に異常を感じたらただちに押しボタンスイッチから指を離してください。装置は停止します。

危険

- 装置内安全確認

注意

- 下段に入庫のときはアンテナ・ドアミラーを格納してください。破損する場合があります。

操作位置

- 操作盤の前に立ち、装置を見渡しながらか操作してください。
- お子様には絶対に操作させないでください。

操作前は常に点検

- お車の運転前点検と同様に、装置も取扱者が操作される前に1日1回実施する様をお願いします。
- この点検は装置前方より目で見たり耳で聞いたりすることによって容易にできるものです。(12ページ⑦項参照してください。)

入庫は慎重に

- 入庫は必ず後進で入庫してください。この時、後方確認のため無理な姿勢をとりますとアクセルとブレーキのペダル操作がしにくくなったり、後方に気をとられて操作が遅れる場合があるのでそれぞれのペダルを確実に踏めるようにしてください。
- 車止めには衝撃を与えないようにしてください。
- パレット中央部に真っすぐに入庫してください。斜めになったり片側に寄ったりした場合は入れ直してください。
- 通路部へ乗り上げそうになったら無理をせずに再度やり直しましょう。

危険

- 定められた取扱者以外は操作禁止。
- 装置内の安全を充分確認した上で操作してください。

警告

- 異常を知らずに使用をつけると事故や故障のもととなります。必ず日常点検をしてください。
- 異常が認められた場合はメンテナンス会社又は当社各サービスセンターへ連絡してください。
- 装置本体の点検、調整、修理は専門業者におまかせください。

警告

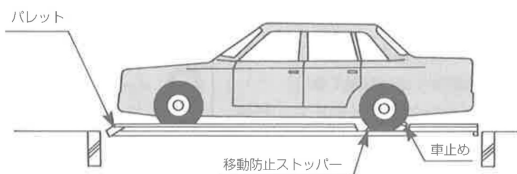
- 車止め乗り上げ禁止。装置に当たり装置外へ出てしまい車を損傷することがあります。
- 車の移動防止ストッパーは乗り越えてください。車の自走を防ぎます。
- 車止めには衝撃を与えないようにしてください。

4 操作手順

上段パレット入出庫 装置の操作は不要です。

①入庫または出庫

- パレットへの入庫は、後進にてパレット中央部に入れ、車止めに当たるまでゆっくりと車を進めてください。
- 車止めに当たったらサイドブレーキを引き、ドアを確実に閉め速やかに装置外へ退出してください。



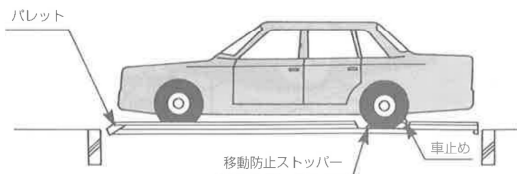
またパレットからの出庫は車の前後左右の安全を確認の上、事故のないように出庫してください。

下段パレット入出庫 装置の操作をしてください。

- ①電源スイッチに所定のキーを差し込み入側に回転させます。
- ②選択スイッチにて作動させる機械を選択します。
- ③操作スイッチの下段上昇ボタンを押し続けてください。
- ④下段上昇ボタンを押し続けると下段パレットが、乗り込み位置まで上昇し自動停止します。停止するまで押し続けてください。

⑤入庫または出庫

- パレットへの入庫は後進にてドアミラー・アンテナに注意しながらパレット中央部に入れ、車止めに当たるまでゆっくりと進めてください。
- 車止めに当たったらサイドブレーキを引き、エンジンの停止およびドアの閉まりの確認とドアミラーを格納して、速やかに装置外に退出してください。
- またパレットからの出庫は、車の前後左右の安全を確認の上、事故のないように出庫してください。



- ⑥操作スイッチの下降ボタンを押し続けてください。
- パレットは下限位置まで下降します。自動的に停止するまで押し続けてください。
- ⑦電源キーを切側に回転し引抜きます。

危険

- 同乗者の乗降、荷物の積み降ろし等は、必ず装置外で行ってください。
- 車の入出庫および装置の操作時には周囲・安全を十分確認してください。

警告

- パレット中央部に真っすぐに入庫してください。斜めに入れたり片側に寄りすぎた場合は入れ直してください。
- 通路部への車通過禁止
- 移動防止ストッパーは乗り越えてください。
- 車止めに当たった後シフトを「P」に入れてサイドブレーキを確実に引いてください。
- 車止めに衝撃を与えないでください。
- 車止め乗り上げ禁止。装置と車が損傷するおそれがあります。ルーフキャリア、荷物等の高さにも注意してください。
- 装置内の車への乗降の際、足元や頭上には十分注意をする
- ドアミラー・アンテナは入庫前に格納してください。出したまま入庫するとアンテナを損傷するおそれがあります。
- 装置内ではトランクを開けないでください。車のタイプによっては装置と干渉する場合があります。

警告

- 使用後は必ず下限位置までパレットを下げてください。上がっていたり、完全に降っていない場合は隣の装置が動きません。

5 異常時の処置方法

警告

装置自体の異常が故障が認められた場合は、点検修理が完了するまで絶対に操作しないでください。

■こんな時にはどうする？

こんな時	考えられる原因	処理方法
電源キースイッチにキーが入らない。	●キー及びキー穴が変形している。 ●キー穴がさびている。 ●錠の内部の動きが悪い。 ●キー穴の中に異物が入っている。	●スペアキーの使用・スペアキーがない場合管理者へご連絡ください。 ●潤滑油（CRC等）をごく少量塗布してください。（油・グリース不可） ●メンテナンス会社又は当社各サービスセンターへご連絡ください。
上昇・下降もしない。	●停電又は電源のブレーカーがOFFになっている。 ●モータ過負荷保護装置（サーマルリレー）が作動している。 ●その他	●電源を確認してください。 ●メンテナンス会社又は当社各サービスセンターへご連絡ください。 ● //
「上昇」のボタンを押しても作動しない。	●隣の装置が完全に降りていない。 ●上限又はオーバーランリミットスイッチの故障。 ●モータの不具合。 ●その他	●管理人に連絡の上、隣の装置を降してください。 ●メンテナンス会社又は当社各サービスセンターへご連絡ください。 ● // ● //
「下降」のボタンを押しても作動しない。	●落下防止装置の不具合。 ●下限又はオーバーランリミットスイッチの故障。 ●モータの不具合。 ●その他	● // ● // ● // ● //
「下降」のボタンを押すと少しだけ動き停止した。	●落下防止装置の不具合。	● //
正常な停止位置に停止しない。	●リミットスイッチの故障。 ●リミットスイッチの調整不良。	● // ● //
車止めに乗り上げたとき。	●いきおい余って乗り越えた。	● // ●メンテナンス会社又は当社各サービスセンターへご連絡ください。
ピット内に物を落としたとき。		●管理人に連絡してください。
異音、異臭、発煙がしたとき。		●管理人に連絡してください。